

2013年10月12日（土）～14日（月）東北復興支援ツアー

其の2（二日目：紅葉の栗駒山ハイク）

レポート by 熊本（写真：熊本、高橋雄、伊能、鵜飼、堀、能勢）

13日（日）は今回のメインイベント：紅葉の栗駒山ハイクである。

昨夜21時半頃、リーダーの高橋文さんが到着。

深夜1時頃の台風並の風と雨で目が覚めた。このまま朝まで続いたらとても登山など出来ない大荒れ模様だ。朝には雨・風が止んでいることを祈って眠る。



朝3時に雨で目が覚め、伊能さん、能勢さん、熊本が風呂にはいりに行く。外は濃いガスで何も見えなく、雨が降っていた。再び布団に潜り、微睡む。再度5時に起き、再び風呂へ。6時頃に明るくなり、3階の部屋からガスが切れた瞬間に紅葉の写真を一枚撮る。まだ小雨が降っている。



7:30朝食

バイキング形式の朝食に腹一杯詰め込む。



8:15 須川高原温泉ホテルの玄関前に集合し、ストレッチ体操。小雨模様のため、完全な雨対策で登山準備。



ストレッチ体操で体を解し、登山開始前に記念の集合写真を撮り出発。  
(8:20)



登山道は硫黄泉源泉のところが登山口幸いなことに雨は上がっていた。



登山口から5分程、登って振り返った写真



須川高原から少々高度を稼いだあたりの紅葉が結構綺麗であった。



25分ほど登ると名残ヶ原の湿原に到る。

湿原は「草モミジ」で一面黄茶色に染まりこれも綺麗だ。



ナナカマドが赤くなり、赤い実も多数ついていた。



9:05 一旦、沢に下り昭和湖への登りとなる。



先ず、最初の景勝地「昭和湖」に向かって登る長蛇の登山客。マイペースで歩ける状態ではない。

このあたりの紅葉は終わりかけ、草紅葉は綺麗だが、木々の紅葉は終盤で鮮やかさはなかった。



9:25 昭和湖に到着。  
晴れていれば、エメラルドグリーンに輝く湖面だが、霧雨状では・・・・・



9:30 昭和湖をバックに全員で記念写真を撮る。

風が強く、小雨が降り、これから先の急登は紅葉も望めず、ガスで展望もないとのことで、我々は中腹の紅葉に焦点をあてることにし、この地点から下山を決断した。

2007年8月の栗駒山挑戦時も強風のため、山頂目前で登頂を断念し撤退し、これで2連続。次回再リベンジする目的ができた。



中腹の紅葉は常緑樹の緑に黄色や赤の紅葉が綺麗に映えていた。



名残ヶ原の入口まで戻り、そのまま直進すれば登ってきたコースを戻すことになるが、左折し、登りとは別のルートで須川高原登山口まで戻ることにした。



名残ヶ原から左折した木道にルート変更。



名残ヶ原から分岐のところで・・・



道は泥濘で、歩きにくいが  
登山道周辺は赤や黄色に色付いた紅葉が楽しめる。



暫く樹林帯を歩くと再び開けた木道の湿原に出た。  
草紅葉も鮮やかに輝く。



この付近の紅葉も見ごたえあつた。



須川高原温泉に向かう登山道の紅葉は非常に綺麗であった。





見事な紅葉を  
バックに記念  
の一枚。



雨はやみ、紅葉の写真撮るに余念が  
ない。





10:45 登山口の噴煙あげる源泉が  
見えてきました。

11 時に須川高原温泉に戻り、  
3 時間弱の紅葉ハイクであった。  
温泉入浴し、12 時に須川温泉を後  
に一関へ向かう。



13:45 一関駅に戻ってきた。

ここで、雄さん、文さんのレンタカ  
ーを返却する。





駅前の「そばはな」で一泊組と 2 泊組のお別れそば昼食会



ひがしやま観光ホテルへ向かう被災地訪問組の皆さん 7 名と本日帰路組がここで、お別れ、



岡部さんは息子さんのいる盛岡へ、伊能さんは仙台へ、残った小山さん、雄さん、熊本の 3 名がやまびこ 62 号で帰路に着きました。